

2018年5月7日(平成30年)

★head line——★

1. あいさつ
2. セッション及び講演案内
3. 「なぜ」と問うことの中で(41)  
— 西瓜(すいか)は食べていますか? — 岡部進
4. 「年金の話」—その95—  
— 支給開始年齢を巡って—7 — 田村正雄
5. 世界の気になる情報と数値  
—読書とネットサーフィンから— その5 — 田村一郎
6. 著書及び新刊本紹介
7. 今日のワンポイント…「絵画展から」 岡部進
8. 編集後記

=====

★1. あいさつ——★

5月になり、すっかり初夏です。3日は憲法記念日です。現行憲法は、「日本は二度と侵略戦争しない」と世界に宣言しました。この宣言はその後70数年を経た今でも守られていることは、日本人のすべての人が侵略戦争反対の意思のもとで生活をしていることの表れでしょう。この事実は、どこの国の人々も素晴らしいと思っていることでしょう。この点で現行憲法は、他国からの侵略も許さないという他国の思い入れもあって日本に平和をもたらしました。テレビ等のニュースで、難しい外交問題等を耳にしますが、上手に乗り切って欲しいですね。

憲法記念日にこんなことを考えました。(5月6日:生活数学ネットワーク代表 岡部進)

=====

★2. セッション及び講演案内——★

- ①5月22日(第4火)18:30~20:00(18:30受付開始)  
生活数学セッション(第103回) 於:麴町高善ビル 会議室  
「知的好奇心のヒント~数値文化の近未来—その66」

※申込みは、最後にあるフォーマットをご利用下さい。

※仔細は別途セッション案内に掲載。(約1週間前に案内中)

※詳しくはブログ及びホームページをご覧ください。

★★★長瀬ツアーの翌日がセッションでした。旅の疲れも忘れて、この日のテーマは『「データ列」の特徴把握の仕方』。真面目に取り組みました。

取組みといえば、毎回、本題に入る前にK氏による結びの練習（エクササイズ）をやっています。この日は止め結び、八の字結び、縄梯子、テグス、以上でした。課外授業では旅館に一泊することもある。毎回「縄梯子の作り方」を学習します。暮らしに役立つ生活数学の実践につながっているようでもあります。

=====

### ★3. 「なぜ」と問うことの中で(41)——☆

岡部進(元日本大学教授)

■=◇=【西瓜（すいか）は食べていますか？】=◇=■

#### 西瓜のイメージ

「スイカ」というと、スイカカードを連想してしまう今ですが、漢字の「西瓜」となると筆者は戦後まもなくの少年時代の真夏を思い出します。

・井戸水で冷やしておいた西瓜です。

おやつの西瓜も家族団らん時の西瓜も井戸水で冷やして食べたのです。まだ冷蔵庫も普及していない頃でしたから、西瓜を冷やして食べるには井戸水の冷たさが必要だったのです。

あの頃、水道もまだ普及していないのですから、どの家も地下水をくみ上げる手動式機具の井戸でした。手で器具を上下に何回も動かすことで地下水をくみ上げて西瓜を冷やしました。

この冷たさは室温との相対的差異でしたから、今思うと差異はわずかであったのかもしれませんが。

それでも冷やされた西瓜は美味しかった。今でも当時の美味しさが記憶に残っています。

その後、冷蔵庫の普及で、冷蔵庫で冷やされた西瓜を食べるようになり、手間がかからなくなりました。

#### 西瓜は果物ですか？

さて、質問です

・西瓜は果物ですか、野菜ですか

八百屋やショッピングセンターの店先を覗いて見ましょう。見た限り、

・西瓜は果物コーナーにありました！

ということで、店では、

・西瓜は果物扱い

ということなのでしょう。

しかし、農林水産省では、

・西瓜は野菜です

という扱いをして、「その他の野菜」なのです。もちろん、緑黄色野菜ではありません。

そこで、本稿でも「西瓜は野菜」として扱うことにします。

## 西瓜の国内生産量推移

次に、西瓜の国内生産量の推移を見ていきましょう。どんな推移を想像しますか。

次の5択から1択を選んでみましょう。

- ① すごく増えている
- ② 少しずつ増えている
- ③ 増減無く横並び
- ④ 少し減っている
- ⑤ すごく減っている

この中のどの番号を選びましたか。日ごろの体験を踏まえて妥当と思える番号を選んでみてください。

また、この質問を身近の方々に行ってみました。異口同音に、「最近、以前のように〈すいかすいか〉といいませんね。食べる回数は減っているかも」ということでした。

はたしてどのような推移なのでしょう。農林水産省食料需給表を調べてみました。これが図1です。

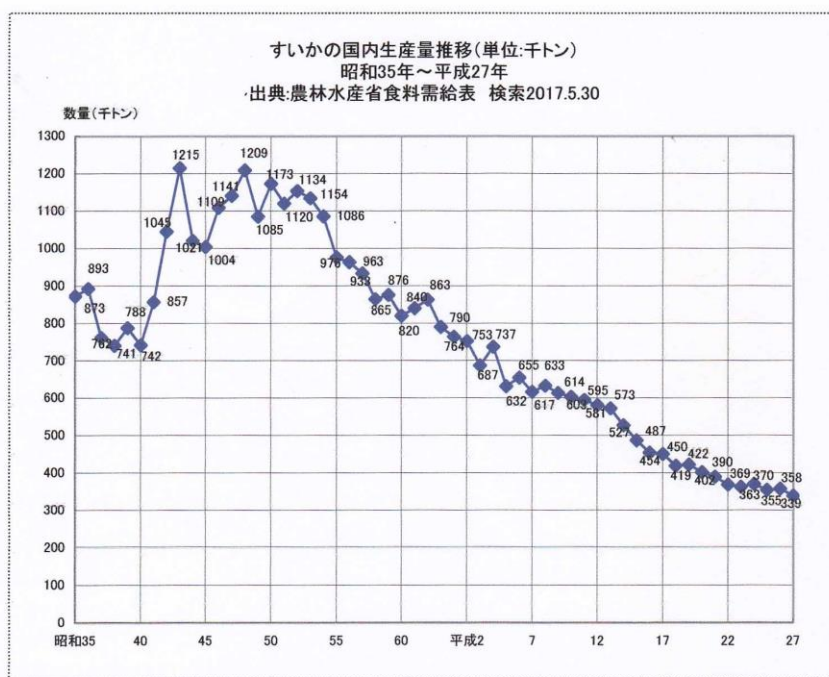


図1 グラフは筆者作成

図1を見て、どんな感想を持ちましたか。

「近年は随分減っているんですね」

というのが率直な感想でしょう。

それでは次に図1のグラフの特徴を挙げてみましょう。まずグラフの全体像を眺めてから左上を見ると、次のことが分かります。

- ① 西瓜の国内生産の全盛期は昭和42年から昭和54年までの13年間  
またこの期間の国内生産量は、
  - ・1000千トンから1300千トンの範囲を維持している

のです。

しかし、グラフは前掲①の期間を過ぎると右下がりですから、

②昭和 55 年以降は減少傾向

です。しかも、

・ 1000 千トンを超えることなく下回り続ける

こととなります。そして、

③平成 27 年の生産量は 339 千トンになり最低を記録しているのです。

このような下降現象は、

④国内生産量の最大値 1215 と最小値 339 の差は 876 千トンということになり、比率からすると

・ 最小値は最大値の 27.9%

という落ち方です。

この数値は、

・ いまの国内生産量は最盛期の 3 割弱である

ということになります。

残念ながら、

・ 農家は西瓜作りから目をそらしてしまった

ということでしょう。

その要因は、

・ 西瓜は季節物、夏場だけのもの

・ 作付けの面積を広く取るのに比べて収穫量が少ない

・ 天候に味が左右されやすい

・ 「手間ひま」がかかる

などと、いろいろあるでしょう。

### 昭和 55 年以降の減少傾向の数値表現

それでは、昭和 55 年以降の西瓜の国内生産の減少傾向を数値で表してみましよう。これが図 2 です。

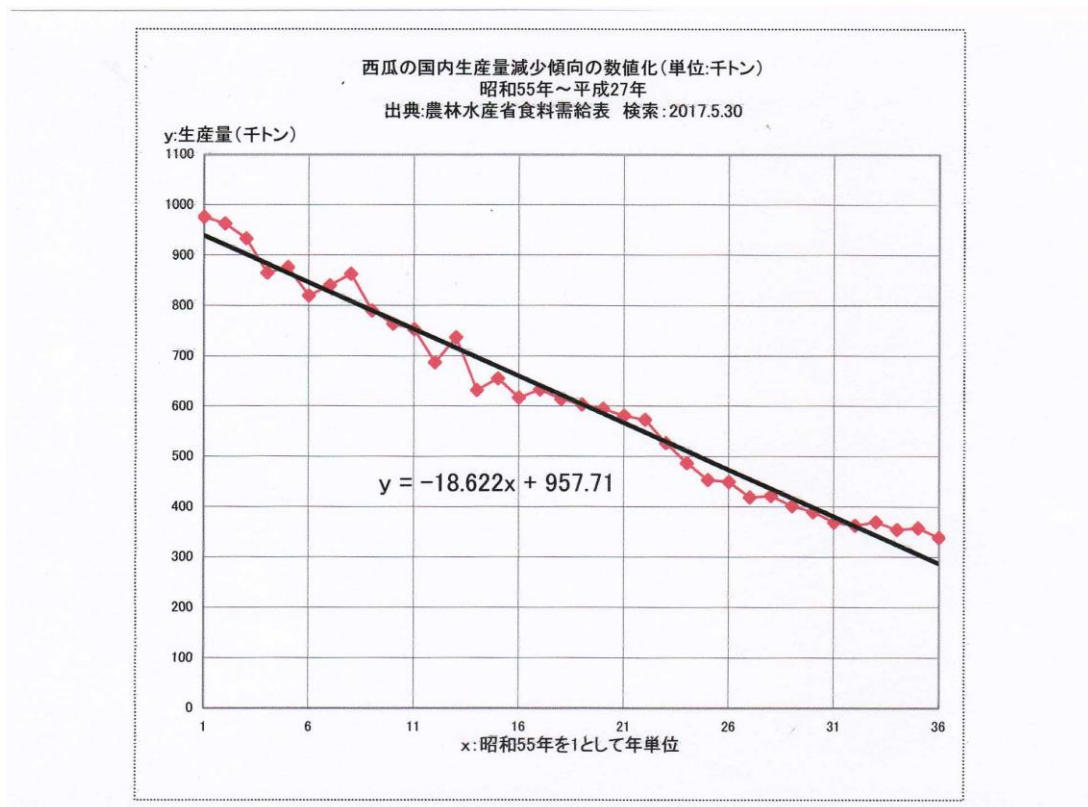


図2 近似直線及び式はエクセルソフトからの自動

図2を見ると、昭和55年から平成27年までの国内生産量の減少傾向は、次のような直線で近似することができます。そしてこの式は、次になります。

- ・一次関数  $y = -18.622x + 957.71$

ここでxの係数をみると、

- ・  $-18.622$

です。この数値は、横軸の向きに1だけすすむと、縦軸の下向きに18.622だけすすむことを表していますから、

- ・年々18.622千トンだけ減少している

という事です。

これを一人あたりに換算すると毎年約155グラム減っている\*) ことになります。

\*)  $18.622 \text{ 千トン} = 18622 \text{ トン} = 18622000 \text{ キログラム}$

$= 18622000000 \text{ グラム} = 18622 \times 10^6 \text{ グラム}$

総人口1億2千万人  $= 120000000 \text{ 人} = 12 \times 10^7 \text{ 人}$

したがって、 $18622 \times 10^6 \div (12 \times 10^7) = 18622 \div 120 = 155.183 \dots$

## 西瓜の消費量

では、人々は西瓜をどの程度に食べているのでしょうか。民間調査機関\*)によると、平成27年の一人当たりの消費量は、「赤玉1個1kgで換算」とすると次のようになります。

\*) [region-case.com/rank-h27-water-melon](http://region-case.com/rank-h27-water-melon)

「【トップ3】

奈良県 0.55個

群馬県 0.39個

長野県 0.38 個

全国平均 0.25 個」(検索:2017.8.31)

この調査結果で、全国平均が 0.25 個ですから、一人 250 g ずつ消費していることとなります。総人口の 1 億 2 千万人で捉えると、30 千トンになります\* )。

\* )  $250 \times 120000000$  グラム =  $25 \times 12 \times 10^8$  グラム  
=  $300 \times 10^5$  キログラム =  $300 \times 10^2$  トン = 30 千トン

この国内消費量 30 千トンと、平成 27 年の国内生産量 339 千トンを比較すると、前者は後者の約十一分の 1 です。

つまり市場に出回る西瓜の数量は、購入者から見ると、余裕のある数量ということになりますから価格の設定が気になるところでしょう。

## おわりに

西瓜は、真夏に涼む食べ物として日常的に行われていた風物詩のような慣習は、いま失われつつあるのでしょうか。人々は、西瓜の代わりに涼む食べ物として何を求めているのでしょうか。

食生活の変わり目をいま迎えているのかもしれませんが。(2018.4.30・岡部)

※掲載文の無断転載を禁じます。

☆ご意見、ご感想をお寄せ下さい。⇒Mail

=====

## ★4. 「年金の話」—その95—★

田村正雄 (元(株)野村総合研究所主席研究員)

### ■=◇=【支給開始年齢を巡って-7】=◇=■

「支給開始年齢」という言葉は、制度を運営している側から見たもののよう  
に思われます。年金を受給する側からすると「受給開始年齢」と言った方  
が実態に即しているように思われますが如何でしょうか。この点に関しては、  
我が国の公的年金には、加入者、受給者の気持ちに配慮した仕組みが用意さ  
れているように思われます。

我が国の公的年金では、全国民を対象とした保険料の拠出に比例した定額  
の「基礎年金」と、現役時代の保険料拠出のベースとなった所得と加入期間  
に比例する「所得比例年金」から構成されています。これらの年金は、いず  
れも制度的には 65 歳から支給されることになっています。ただし、サラリー  
マンを対象とした厚生年金では、現在の支給開始年齢は 2025 年までに 65 歳  
に引き上げられる経過的な段階にあります。こうした状況のもとで、年金を  
受給し始める年齢を基準となっている支給開始年齢を中心として前後 5 歳幅  
の範囲内で、受給者が受給開始年齢を選択することが出来ることになってい  
ます。

この措置によって、受給者は自分の希望に添った年金受給の開始時期を選  
択できるようになっています。ただし、この措置は無制限に受給開始年齢を  
選べるわけではなく制度上の「支給開始年齢」の前後 5 歳以内の範囲に限ら

れています。この選択可能な範囲を拡大してはどうかと言うのが、「年金の話—90」で紹介した日本老年学会の提言の内容です。最近の高齢者の実情からするとともに面がありますが、年金制度の財政上の効果という面では現状と大きな違いはないものと見られています。

これに対して、今年4月11日に開催された財務相の諮問機関である財政制度等審議会の財政制度分科会で、社会保障制度改革というテーマの中で、財務省は65歳に引き上げつつある支給開始年齢について「さらに引き上げていくべきではないか」と提言したと伝えられています。基礎年金の給付財源の2分の1を担っている財務省としては、財政効果のはっきりしている「支給開始年齢」の引き上げが急務であるとの認識を表明した形になっています。現在のところ、この提言の先行きははっきりしませんが、先進国の中で最も平均寿命が長く、人口高齢化が進んでいる我が国のこの問題に対する対処方針は、今後どうなるのか注目されるところです。

財務省は、「人生100年時代がやってくる中で、年金財政が悪化することにより、将来世代の給付水準が低下し、2035年以降に団塊ジュニア世代が65歳になることなどを踏まえると、早期の支給開始年齢引き上げが望ましい」としています。その上で、欧米の主要国が支給開始年齢を67、68歳に引き上げている現状（「年金の話—92」で紹介済み）を踏まえ、日本でも支給開始年齢を68歳に引き上げる案を提示しています。一方では、平均余命は伸びているため、高齢者の就労が促進され、拠出する保険料が増加することにより、年金の受給水準は上昇するという面があることも強調しています。

(2018.4.30・田村)

◇「年金の支給開始年齢」を巡る話題は今回で終了し、次回から“年金は終身受給なのか”などについて、小生の承知している情報をお届けしてみたいと思っています。(田村正雄)

◇受給開始年齢を67、68、69、70などにすると、その後の生存期間からみて受給期間が短縮されるでしょう。ここが支給側のねらいなのでしょう。財源のことが気になりますね。(岡部進)

☆ご意見、ご感想をお寄せ下さい。⇒Mail

=====

## ★5. 世界の気になる情報と数値———☆

田村一郎(元石油会社勤務)

海外勤務が長かった田村さんが、世界の気になる情報と数値、それらを扱った本(いわゆるスパイ小説)、雑誌記事などを簡単にまとめ、生活数学月刊誌に紹介して下さることになりました。日本の弱点は世界の情報収集力が弱いことであり、日本のマスコミのスクリーンを経ていない生の世界情報(例: CIA WORLD FACTBOOK)などに、もっと関心を持っていただければとのことでした。

た。(前田洋子)

■=◇=【 読書とネットサーフィンから— その5 】=◇=■

☆☆今月のテーマ：**サイバー攻撃、自国第一主義**。4月に引き続き、トム・クランシー著作のご紹介。

☆☆気になる情報：(4月号もご参照下さい)

①サイバー攻撃対策のため、日本政府は各機関に散らばる専門家500人余を一堂に集める部局の新設を発表(4/2 NHK TV)。今頃どうして？ 施設住所は発表せず。この情報はその後消された？

②3月4日英国。ロシアの元スパイと娘が、共に意識不明の状態で見つされた。ロシアの神経毒「ノビチョク」が使われたとしてその責任と判断、英米 NATO など25ヶ国が、100人以上の露外交官追放(3/28毎日)。ロシアも対抗措置。日本同調せず(3/27時事)。同スパイはプーチン大統領に恩赦を嘆願していた。今頃、何故？

③米通商代表部(USTR)は、中国が知的財産を侵害しているとして、WTOに提訴(3/23時事)。

④中国、新型弾道ミサイル「東風26」配備。グアム射程。高対艦能力(4/26, '18 JIJI.COM)

⑤外交・安全保障担当大統領補佐官を対北強硬派のボルトン元国連大使に交代、中国に貿易戦争を沿掛けるトランプ大統領。電撃的に中国訪問を成功させた金正恩。どちらが知者で上手か？(4/29, '18 JIJI.COM)

**スパイ戦は現実です。**

☆☆気になる数値(前回の宿題)：**74、2958、2、3**

② 票率**74%**でプーチン大統領再選。**強いロシアの再建**を。

②中国、憲法を改定。前文に「習近平の新時代の中国の特色ある社会主義思想」、「**社会主義現代化強国の建設**」、「**中華民族の偉大な復興**」を追加。第79条「国家主席、副主席に関する2期を超えて連続して就任できない」とする規定を削除。賛成**2958**票、反対**2**票、棄権**3**票。この5人は勇氣ある人々だ。

感想：トランプ大統領の**"America first"**と合わせ、ロシア、中国でも、**自国第一(世界一?)**主義が覗えます。自国第一は当然のことですが、中国が世界一となった世界を想像するとゾッとします。

☆☆読んだ本の紹介：

トム・クランシー著「米中開戦」(H.26新潮文庫全4冊、原作は**2012**)。「ライアン大統領、ザ・キャンパス」シリーズの一つ。

主要登場人物は、「ザ・キャンパス」の面々、特に、ライアン大統領の長男ジュニア、バイアリーIT部長、中国側は、ウェイ・ヂェンリン中国国家主



席、スー・コーチアン中央軍事委員会主席（共に、太子党。サイバー戦で米国を混乱させ、**中国世界一**を目指す）、トン・クオクン博士（ITの天才。文中のコードは「センター」）。

物語は、「ザ・キャンパス・ヒットチーム」によるイスタンブールでの元リビア情報機関員暗殺から始まる。そこで入手したコンピューター・システムに「センター」が潜在していた。センターは元リビア情報機関員を利用、それを犠牲に、自らのウィルスを「キャンパス」に植え込むことを図ったが失敗、バイアリー部長に尻尾の切れ端を掴まれる。

「センター」は「キャンパス」にハイテク機器を導入する業者にハニートラップを仕掛け、また、主人公の恋人(CIA 情報分析官)の父親の役人時代の失敗を咎めて、彼女を取り込むなど、あらゆる手段で、米国コンピューターシステムに**サイバー攻撃**をかけ、交通・通信システム、原発に損傷を与える。軍事 UAV(ドローン)の操作が乗っ取られ、証券市場が大混乱し……。中国特殊部隊員による「キャンパス」襲撃に犠牲者を出しながら対処、首謀者二人を生きたままを捕える。

以下…後は読んでのお楽しみ。

★次回の数値：**1950. 6. 25, 1953. 7. 27, 38。**

ヒント：これは皆様、お分りでしょう。

★次回のテーマ：**東西冷戦その2。**

以上。（2018. 4. 30. 田村一郎）

☆ご意見、ご感想をお寄せ下さい。⇒Mail

=====

## ★6. 著書及び新刊本紹介——☆

（全て税別表示価格）

### 【 新刊本ご案内 】

★＝「江戸時代の文化思想として 関孝和の「三部抄」を読む」12月1日刊行。

（新・生活数学シリーズNo.3）ISBN978-4-9905889-2-2（四六版 203頁 2,000円）

《毎月開催中のセッションの基本テーマ「数値文化の近未来」（No.40～49）で取り上げた記録》

●＝「数値文化論」（新・生活数学シリーズNo.2）好評発売中。

ISBN 978-4-9905889-3-9（四六版 228頁 1,500円）

### 【その他の著書】

●＝茶の間に対数目盛 3.11 震災に学ぶ（四六版 268頁 1,500円）

（続・生活数学シリーズNo.1）

案内⇒<http://www.yo-club.com/zokusiri-zu1.pdf>

紹介文⇒<http://www.yo-club.com/okabe12.htm>

一昨年実施した福島ツアー（生活数学課外授業）⇒

<http://www.yo-club.com/gallery34.htm>

●＝No.1「洋算」摂取の時代を見つめる（B6サイズ284頁 2,500円）

「生活数学シリーズ本（No.1～No.10）」のなかから、

案内⇒<http://www.yo-club.com/11satusyokai.pdf>

紹介文⇒<http://www.yo-club.com/okabe13.htm>

○=====○

《今だに問合せがある下記著書について多少在庫がございますので案内させていただきます。》

○ 「小倉金之助 その思想」(昭和 58 年 9 月発行)定価 2300 円 290 頁

《その他、古書案内》

○ 算数・数学教育はこれでよいのか(1987年11月発行)2500円

○ 学校数学はいらないか(1996年10月発行)2000円

○=====○

◆◆◆

- ・学生、教員の方には特別割引実施中ですので、お問合せ下さい。
- ・生徒学生用にテキスト採用の場合、更に割引対応中。
- ・セミナー及びセッション参加者にも特別割引にて提供中。
- ・その他の本については、下記ホームページ及びブログにて案内中。

→ <http://okabesusum.exblog.jp/>

→ <http://www.yo-club.com/>

=====

## ★7. 今日のワンポイント———☆

■=◇=【 絵画展から 】=◇=■

いま大小さまざまな規模の絵画展が数えられないほど日本国中で開かれていますので、絵画を描いている人は数えきれない人数でしょう。筆者はそのうちのわずかな絵画にしか接していない一人ですが、接するたびにいろいろに考えさせられます。中でも個性です。一枚の絵画に一人の個性が存在することです。このことは当たり前のことですが、横並びの出来事に日々接していると、これが特別に見えるのです。なぜ特別に見えるのでしょうか。

絵画での個性の存在は、「うまい」や「へた」あるいは具象と抽象の違いを越えて、描いている側と見る側との一対一の対話が成り立つのですね。中でも同人絵画展は大いに啓発されます。同人といっても人数に多少の差がありますが、いずれも個性派ばかりですから展示されている絵画は、横並びではなく、テーマ、対象、サイズ、手法、などがバラバラなのです。このバラバラが魅力的なのです。

絵画展にもいろいろあるということは承知していますが、そんなところに目を向けて観てみるのも面白いのではないのでしょうか。(2018.5.6.岡部進)

=====

## ★8. 編集後記———☆

4月22-23日、恒例の課外授業で長瀬へ15名のバスツアー。お天気にも恵まれました。子供の頃に遠足で行った事がある人などいましたが、博物館の充実ぶりに驚いたり、旅館も落ち着いた雰囲気でおもてなし充分、ガイド付きで散策した石畳でも新鮮な発見があったりと、またひとつ楽しい思い出

を重ねる事が出来ました。

長瀬の ロマン染み込む 石畳み

石畳み 温もり添える 藤の花

気が付けば連休も終わり、着る服も半袖になり、と、季節が飛んでいくようです。梅雨入り前のさわやかな季節、5月のセッションに是非お出かけください。(2018. 5. 6. 前田洋子)

※第7回生活数学課外授業「長瀬の旅」；

<http://www.yo-club.com/gallery34.htm>

※「生活数学セッション」案内；

<http://seikatusugaku.blog.fc2.com/>

☆ご意見、ご感想をお寄せ下さい。⇒Mail

=====

・・・最後までお読み頂きましてありがとうございます・・・

=====

■このメールマガジンは、主に岡部進及びヨーコインターナショナル（前田洋子）に何らかのご縁があって名刺交換等をさせて頂きました方々、あるいは購読を希望され申込を頂きました方々に、送らせて頂いております。

■配信停止やメールアドレス変更の連絡は⇒Mail

■ご意見、感想文、岡部進氏へのメッセージなどは⇒Mail

■セッションや本に関する情報を別途不定期で発信する場合があります。ご了承ください。

■掲載文の無断転載を禁じます。

=====

※・・・岡部進の生活数学を街一杯に・・・※

※・・・アートの輪・人の輪をライフワークに・・・※

SSN 暮らしに役立つ 生活数学ネットワーク 代表 岡部進、アンバサダー各位

有限会社ヨーコインターナショナル 代表取締役 前田洋子

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-50-4

電話 03-3299-7246 F A X 03-3299-7246

URL <http://www.yo-club.com>

=====

\*\*\*\*\* 講演会【返信】フォーマット \*\*\*\*\*

■ 5/22の生活数学セッション

セッション と  懇親会に参加します。

ご氏名：

電話番号：

（あれば）コメント：

□ ご同伴者：

※会費:セッション 1500 円(学割有り) 懇親会(忘年会)は別途。詳細は別途。

※会場：麴町高善ビル4階 会議室

〒102-0083 千代田区麴町 4-8

※アクセス：東京メトロ有楽町線麴町駅4番出口を出て左、ひとつ目の  
信号を左、約100m. 先左手。

地図：<http://www.zen-harmonic.com/info.html>